

抱っこした赤ちゃんの肌に触れるのは。



まだまだ暑い日が予想されているとはいえ、立秋を過ぎ、暦の上ではもう秋。

そろそろお肌の乾燥が気になる季節ですね。

大人の肌ケアにはあれこれ気が回るものですが、忘れてはいけないのが、赤ちゃんの肌への気配りです。

ふっくらやわらか、ツヤツヤ。

赤ちゃんの肌は理想的なコンディションに見えるものの、実は未熟なため、環境に対する適応力が十分ではありません。

皮膚の厚さは大人の半分ほどしかなく、また潤いを保つ皮脂膜も、生後4か月頃までをピークに低下。そのため赤ちゃんの肌は大人よりバリア機能が弱く、特に空気が乾燥する季節には、カサつきやかゆみなどのトラブルを起こしたり、衣類などによる摩擦刺激にも敏感になりがちです。

そんな赤ちゃんの肌のために、大人ができること。

たとえば、肌に直接触れる衣類やタオルなどの繊維製品は安全・安心でやさしく低刺激なものを選ぶ、ということも大事ですよ。

どう選んでいいかわからない……とモヤモヤしてしまいう方には、「エコテックス認証」を頼りにすることをおすすめします。

日本ではまだ認知度が低いので、
「知らない」「チェックしたことない」という方も多いかもしれませんが、
ヨーロッパでは衣類の買い物の際、
エコテックスラベルの有無が選択を左右するとか。

和紙繊維〈CURETEX®〉は、もちろんエコテックスラベル付き。

世界トップレベルの安全な繊維製品の証「エコテックス®スタンダード 100」認証を
最も厳しい規制値の「Class I」で取得しています。

最も厳しい規制値「Class I」というのは、
生後 36 か月までの乳幼児を対象としたカテゴリー。

バリア機能が低くて刺激に弱い、デリケートな赤ちゃんの肌にもやさしい。
なんでも口に入れたがる赤ちゃんが、舐めたり噛んだりしても大丈夫。

つまり、赤ちゃんのための繊維製品を選ぶなら
「Class I」のエコテックスラベルを目印にすれば間違いない、というわけです。

ところで、赤ちゃんの肌に触れるものというと
ベビー服、ベビー寝具、ベビータオルなど
赤ちゃん用の繊維製品を思い浮かべることと思いますが、
子育てをする大人たちの衣類はどうでしょう。

抱っこするとき、おんぶするとき、
赤ちゃんの顔や手足が触れることを考えれば
子育てする人みんな、
自分の衣類の安全・安心にも十分注意してほしい。

エコテックスラベルのこと、
お買い物の際にちょっと思い出してみてくださいね。